第十六回法政大学 能楽セミナー

能を知る 新しい扉

2011

10月 24 月　31 月　11月 14 月　21 月

特別講演

10 月 24 日(月)：午後 6 時～8 時

日本の式三番・鬼能に当たる芸態は中国にかって存在したか

田仲 一成（東京大学名誉教授）

興福寺呪師走りの翁、黒川能、吉良川御田祭りなど、日本芸能は多彩な式三番および鬼能の芸態を保存していますが、中国大陸では、現存の仮面系芸能にも歴史記録にも、わずかな痕跡が残るだけです。かって我々の世代は、仮面は大陸からきたと考え、大陸を探し回ってきましたが、むしろ、日本の芸能の諸相から、失われた過去の大陸の芸能を復元する道を考えた方がよいように思っています。今回は、そのようなお話を申し上げたいと思っています。

10 月 31 日(月)：午後 6 時～8 時

観客にやさしい世阿弥の能

—すべては言葉で説明される—

山中 玲子（法政大学能楽研究所教授）

11 月 14 日(月)：午後 6 時～8 時

「塩辛き能」の世界

—儀理能・泣キ能・切合能—

伊海 孝充（法政大学文学部専任講師）

11 月 21 日(月)：午後 6 時～8 時

昔は○○も能を舞った

—女と大道芸人と外国人が舞った能—

宮本 圭造（法政大学能楽研究所准教授）

会　場　法政大学（市ヶ谷キャンパス）ボアソナード・タワー26階　スカイホール
千代田区富士見2－17－1（JR・地下鉄各線　飯田橋駅または市ヶ谷駅より10分）

今年度より受講料を無料にしました。

申し込みも不要ですので、直接会場にお越しください。
ただし、定員（100 名）を超える場合には、ご入場をお断りする場合もございます。

問い合わせ先
〒102-8160
東京都千代田区富士見 2-17-1 ボアソナードタワー 23F
法政大学能楽研究所
電話：03-3264-9815　ファックス：03-3264-9607